

やさい週間情報(第36号)

平成29年12月15日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	3,600~3,500	3,600~3,500	-	1本売り (2L・L) 398~298円	北海道、本県産ともに太物中心の入荷となっているが、一時的に少なかった北海道産の2L、L級も今週から潤沢な入荷となっている。量販店では1本売り中心となる中、カット用としてC品を中心に太物の荷動きも僅かながらでてきているが、引続き流通在庫の多さや安価な転送品の影響を受け、太物については厳しい販売となっている。 年末までは引続き、北海道産、本県産ともに潤沢な入荷が見込まれることから全体的には弱めの相場展開となる見込み。また、太物については柔軟な価格設定を行いながら、荷動きの良化に努める。
		A3L	3,600~3,500	3,600~3,500			
		A2L	3,700~3,600	3,600~3,500			
		A L	3,700~3,600	3,600~3,500			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,500~3,400	3,400~3,300			
		B3L	3,500~3,400	3,400~3,300			
		B2L	3,600~3,400	3,400~3,300			
		B L	3,600~3,400	3,400~3,300			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~2,800			
C L	2,800~	2,800~2,600					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	3,500~	3,500~		1本売り 398~298円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 太物については、カット売りの企画販売と消費宣伝の実施により売場は確保されているものの、入荷比率の高さと消費地の気温低下に伴う末端消費の鈍さから弱含みでの販売となっている。L級以下については、太物に比べると安定した販売となっている。 来週以降についても、太物は弱含みでの販売が見込まれるものの、引続き消費宣伝会を実施し、荷動きの良化に努める。
		A3L	3,500~	3,500~			
		A2L	3,500~	3,500~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,300~	3,300~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,200~3,000	3,200~3,000			
C L	2,800~2,500	2,800~2,500					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	3,600~3,500 3,600~3,500 3,600~3,500 3,600~3,500 3,400~3,300 3,400~3,300 3,300~ 3,300~ 2,800~ 2,600~2,500	3,500~3,300 3,500~3,300 3,500~ 3,500~ 3,300~3,000 3,300~3,000 3,300~3,000 3,300~3,000 2,800~ 2,600~2,500		カット 78~59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 北海道産の業者物の入荷は落ち着いてきたが、販売の中心となっていることに変わりない。また、これまでの全体量が多かったことと、量販店等の売価が下がっていないことから、荷動きは全体的に鈍いままとなっている。このような状況から、太物を中心に引合いは弱く、価格についても弱含みでの推移となっている。 北海道産の業者物は、来週、さらに減量するとの情報があるが、これまでの入荷が潤沢であったことから、年内は荷動きの鈍い状態が続く見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	4,000~3,800 4,000~3,800 3,800~3,600 3,500~3,300 3,700~3,500 3,700~3,500 3,500~3,300 3,300~3,200 3,100~3,000	4,000~3,800 4,000~3,800 3,800~3,600 3,500~3,300 3,700~3,500 3,700~3,500 3,500~3,300 3,300~3,200 3,100~3,000		カット 100g 78~58円	寒波の影響により九州北部管内では降雪となったほど寒い日が多く、また、特に北海道産の系統・商系を問わず安価な転送案内も多い影響から、ながいも全般的に荷動きが鈍くなっている。 量販店では売価の下げも見られているが、売場の拡張はされておらず、極端な気温の低下から消費の減退が懸念される。 北海道産の市場流通量は多いが、本県産の入荷量は多くはないことから、年内は極端な価格の下げはなく、弱めの販売となる見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	3,700~3,500 3,700~3,500 3,800~3,500 3,800~3,700 3,300~ 3,300~ 3,500~ 3,500~ 2,800~ 2,500~	3,700~3,500 3,700~3,500 3,800~3,500 3,800~3,700 3,300~ 3,300~ 3,500~ 3,500~ 2,800~ 2,500~	なし	1本売り 398~350円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 先週に引続き、東北市場については、入荷量が少ないものの、荷動きの鈍さから市況は弱含み推移となっている。 来週で年内の出荷が終了となる市場もあり、年末を見越した抱え込み需要からL級中心に引合いは強く、末端消費は鈍い中ではあるが、市況は保合推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	総体量が少ないながらも安定した入荷が続いており、その中でも入荷量の少ない 2 L 級については保合、出荷の中心となっている L・M 級を中心に弱含みの販売となっている。年末年始に向けた抱え込みもあり、年内の販売については概ね保合で推移する見込み。 年始以降、集中出荷も懸念され L・M 級については出荷状況次第ではあるが一段下げての販売が予想される。そのため産地状況の情報共有を図り、状況にあわせた価格設定を行いながら売り場の拡張や荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~ 2,000~ 1,600~ 2,000~ 1,700~ 1,400~	2,200~ 2,000~ 1,600~ 2,000~ 1,700~ 1,400~		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 管内への入荷は大きく変わっておらず、価格については保合での販売となっている。 今後についても、入荷比率の高い M 級については弱含み、比率の少ない 2 L 級については強含みでの販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,200~2,000 1,800~1,600	2,500~2,300 2,200~2,000 1,800~1,600		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 今週は入荷量が増えたものの、年末年始を控えた需要の高まりから引合いが強いことと、M 級を中心とした流通在庫も多くないことから、不足感は残り、堅調な販売となった。 来週については、さらに入荷量が増えることとなっているが、引合いの強さから価格は保合で推移する見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500			にんにく全般に、市場流通量が減少傾向となっている影響により品薄感がでており、2 L 級を中心に価格は強めで推移している。 安価な転送案内もあるが、年末を控え管内では概ね来週出荷分で販売が終了する見込みから、現在の強めの価格形成を保ったまま推移する。

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,000~1,900 1,700~1,600	2,400~2,200 2,000~1,900 1,700~1,600	なし	L 1 P 298 円	入荷量は微増となっている中、県内市場については、発根品の入荷も多く、市況は弱含み推移となっている。ただ、年末の抱え込み需要も始まっていることから、急激な市況に下げとはなっていない。 来週については、年内の出荷が終了となる市場も出てくることから、市況は保 推移の見込み。

品名 ごぼう No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産 茨城県産	本県産 (10K) A 2 L A L A M (4K) A 2 L A L A M	1,500~1,200 1,800~1,700 2,000~ 600~ 500 700~ 600 900~ 800	1,600~1,400 2,000~1,800 2,300~2,200 600~ 500 800~ 700 900~		L 1 本 178~198 円	本県産中心に北海道産、茨城産の販売となっている。 本県産の入荷が日々減少している中で、年末年始の抱え込み需要から全体的に2LからM級を中心に一段上げての販売となっている。また、販売アイテムについても、2L・L級中心へとシフトしてきていることも起因している。 引続き他野菜の入荷が不安定となっていることから、ごぼうについては、各社からの出荷要望は強まっている。そのため、来週についても単価の底上げを図りながら、年末年始の数量確保に努める。
名古屋	本県産 北海道産	A M A 2 M A S A 2 S	2,000~1,800 2,400~2,200 1,700~1,600 1,200~1,100	2,000~1,800 2,400~2,200 1,700~1,600 1,200~1,100		2 M 2 本入 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 入荷が不安定な品目が多い中、安定した入荷が見込まれることから、売場は安定的に確保されている。定番の2Pで使う2M級については強含み、その他の等階級については概ね保合での販売となっている。 年末年始分の確保もある程度進んでいるものの、不足感のある市場もあることから、来週も2M級については引続き強含みでの販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	北海道産 本県産 関東産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,200～800 1,300～1,000 1,800～1,600 2,000～1,800 2,500～2,300 1,800～1,600 1,500～1,200	1,200～1,000 1,300～1,100 1,800～1,600 2,200～2,000 2,500～2,300 2,000～1,800 1,600～1,400		2 M ハーフ 138 円 / P S 2 P 198 円 / P	北海道産・本県産・関東産の販売。 本県産をはじめ、各産地からの入荷が少ないことと、年末年始を控えた需要期を迎えていることから、M級以下を中心に引合いが強まっている。また、依然として太物の入荷割合が高いものの、入荷量の少なさから価格は全体的に上げ基調で推移した。 来週についても、入荷量は多くないため、M級以下の引合いはさらに強まるものと予想され、全体的には強含みでの販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,500～1,300 2,200～2,000 2,400～2,200	1,500～1,300 2,200～2,000 2,400～2,200		2 P 198 円～158 円	年末需要及び本県産の流通量の減少に伴い、2 M 級前後の規格から価格が上げとなっている。 年末に向けた業務関係からの発注量も多く、また、量販店では九州産洗いごぼうも見られ、本県産との併売となっているが、売場スペースは確保されている。 来週は管内向けの出荷が概ね終了となり、入荷も少ない見込みから、M級を中心に価格は強めで推移する。
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	500～400 600～500 800～700 900～800	500～400 600～500 800～700 900～800			4 k g ポリ中心に、入荷量が減少となったこと、年末年始の抱え込み需要から、市況は全体的に強含み推移となっている。 来週については、年内の出荷が終盤となること、引続き不安定な入荷となることから、市況はL・M級を中心に強含み推移の予想。

品名 露地ねぎ

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	中四国産 関東近在産 九州産	3kg A2L AL AM	1,200~1,150 1,400~1,350 1,100~1,000	1,100~ 1,300~ 1,000~		L3P 結束 258~198円/束	<p>バラ品は関東産、結束品は中四国・九州産が中心の販売。 先週同様、各産地からの入荷が不安定であるため、量販店では積極的な売込みがかけられていない。また、冷え込みが厳しくなってきたことで需要も出てきているが、末端売価が高いため、結束を中心に販売する地区ではあるが、バラでの販売も増えてきている。</p> <p>来週については、これまでの高値の影響から弱含み推移となり、年末にかけて下げ基調での販売となる見込み。</p>